

<p>【部会名】 柏市障害者差別解消支援地域協議会 柏市権利擁護ネットワーク会議における 障害者に関する専門部会</p>	<p>【担当】 障害福祉課 石月・三原・遠藤</p>
【開催報告】	
1 柏市障害者虐待防止サポートチーム派遣事業	
(1) 日時：9月18日（木）午後3時00分～午後5時00分	
ア 参加事業所：柏市内計画相談支援事業所（中央地区）	
イ 内容：初任者向け虐待防止研修	
ウ 講師：千葉県障害者虐待防止アドバイザー 市岡 武氏	
(2) 日時：9月22日（月）午前10時00分～午前12時00分	
ア 参加事業所：ケアパートナー柏、グループホーム柏の葉、笛原生活寮モモ、サンサイド柏	
イ 内容：虐待防止委員会の適切な運営について	
ウ 講師：松戸圏域障害者グループホーム等支援ワーカー 小林 義典氏	
柏市くらしコーディネーター 若松 愛子氏	
(3) 日時：9月22日（月）午後2時00分～午後4時00分	
ア 参加事業所：社会福祉法人 桐友学園 沼南育成園	
イ 内容：障害者虐待防止について（講義）・事例を用いたグループワーク	
ウ 講師：社会福祉法人まつど育成会 統括施設長 早坂 裕実子氏	
2 令和7年度第1回柏市障害者権利擁護研修会	
(1) 日時：令和7年7月16日（水）午後2時00分～午後4時00分	
(2) 方式：Web開催	
(3) 内容：障害者虐待防止法～障害者の権利擁護について～（新任職員向け）	
(4) 講師：東葛総合法律事務所 弁護士 萩原 得誉氏	
3 東葛市町村虐待防止担当者連絡会	
(1) 日時：令和7年8月22日（金）午後2時00分～午後4時00分	
(2) 方式：対面開催	
(3) 参加自治体：柏市、松戸市、流山市、我孫子市、野田市	
(4) 内容：令和7年度障害者虐待対応状況について	
事例を通した自治体間の連携について	

【今後の活動予定】

- 1 令和7年度第2回柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会及び柏市障害者差別解消支援地域協議会
日時：令和8年1月13日（火）午後2時00分～午後4時00分
- 2 令和7年度第2回東葛市町村虐待防止担当者連絡会
日時：令和8年2月13日（金）午後2時00分～午後4時00分
- 3 柏市障害者権利擁護研修会
 - (1) 令和7年度第2回
ア 日時：令和7年11月20日（木）午後2時00分～午後4時00分
イ 内容：未定
 - (2) 令和7年度第3回
ア 日時：令和8年2月27日（金）午後2時00分～午後4時00分
イ 内容：未定

<p>【部会名】 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会</p>	<p>【担当】 社会福祉法人ワーナーホーム たんぽぽセンター 渡部真弓</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 全体会</p> <p>(1) 第1回：7月17日（木）対面、WEB併用による開催</p> <p>ア 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○松戸特別支援学校より <ul style="list-style-type: none"> ・通学支援モデル事業の利用状況の報告。 ○保育運営課、児童生徒課より <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園、小中学校での医療的ケア児の受け入れ状況の報告。 ○地域医療推進課より <ul style="list-style-type: none"> ・地域BCP計画査定に向けたワーキングを8月4日に開催し、個別避難計画、福祉避難所の進捗報告を行う予定。 <p>イ 今年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災対策の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・柏市肢体不自由児者を育てる会が実施する11月の防災研修に協力予定。 ○圏域を越えた連携体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体担当者、医ケアコーディネーターが集まり、社会資源や情報の共有及び課題把握のための場を設けていく。 ○成人期の受け入れ先（成人ワーキング） <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアに対応可能なグループホーム、生活介護の事業所は増えていない。 ヘルパー数は減少している印象がある。 自立支援協議会くらし部会との共催で議論・意見交換の場を設けていきたい。 ○サービス利用に係る指示書について（児童ワーキング） <ul style="list-style-type: none"> ・医ケア児に対応している事業所、児童通所事業所と現状把握、意見交換の場を設けたい。 	
<p>【今後の活動予定】</p> <p>1 柏市肢体不自由児者を育てる会の防災研修参加 2025年11月頃予定</p> <p>2 圏域合同研修 2025年11月18日実施予定</p> <p>3 全体会 2026年1月以降、年度内に開催予定</p> <p>4 くらし部会との共催で医ケアがある成人の社会資源について意見交換の場を設けていきたい。</p>	

<p>【部会名】 柏市精神障害にも対応した地域包括ケア システム構築推進事業</p>	<p>【担当】 社会福祉法人ワーナーホーム たんぽぽセンター 上野</p>
<p>【開催報告】</p>	
<p>1 コア会議</p>	
<p>(1) 第1回：9月24日（水） 対面による開催 参加者 8名</p> <p>ア 令和7年度の取組報告（中間報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングの報告（詳細は下記に記載） ・研修会の案内、内容検討 <p>イ 第二回実務者会議の内容について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の取組報告（中間報告） ・グループワーク (内容) 退院時の支援について（退院時に病院に確認したいこと） <p>ウ 次年度（令和8年度）の柏市にも包括事業の取組内容について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務者会議の開催（年3回程度） ・ワーキング（継続事業） 教育機関を絡める内容もあるため、今年度中に計画を立てる。 ・研修会の開催 ・ピアソポーターの活用 	
<p>2 ワーキングの報告</p>	
<p>(1) 第1回：6月25日（水） 15：30～17：00</p> <p>対面による開催 参加者 13名</p>	
<p>ア 柏市の教育現場におけるメンタルヘルスの困り感の現状について</p> <p>こども相談センター杉本先生、児童生徒課安達先生より現状の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の件数が増加。引きこもりになってしまう子ども、暴れてしまう子どもが多い。辿ると発達障害に関する影響がある。 ・リストカットやオーバードーズも増えて、学校だけでは対応が難しい。 ・中学校卒業後の受け皿が少ない。繋ぐところまではするが、その後引きこもりやパパ活に走ってしまうこともある。 ・児童精神科はどこも一杯。子供のメンタルヘルスの相談先が分からない。 	
<p>イ 柏市の若年層のメンタルヘルスについて（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引きこもりになってしまい、家族に暴力をふるうケースもある。 ・学校の先生にどこまで期待できるのか。もっと社会資源に繋げていけるとよい。 ・保護者支援の必要性を考える必要もある。 ・貧困課題に地域格差がある。貧困課題には親のメンタルヘルス課題が絡んでいることが多いように感じる。 	
<p>(2) 第2回：8月27日（水） 15：30～17：00</p>	

対面による開催 参加者11名

ア 前回の振り返り、意見交換

イ 若年層のケースで関わりがある機関やサービスの共有、意見交換

・高校生以上は個人情報の問題があり、聞き取りが難しい。

・教育現場の仕組みと現状、アプローチの仕方等が知りたい。

・SSWが相談を受けた際、どこに繋げているのか知りたい。

・中学卒業後の相談先の情報が分かると良い。

ウ 調査対象者、調査方法について

・まずは小学校高学年から中学生を対象にヒアリングを行う。

・今やれることから始める。早い段階で困り感をキャッチするのがよい。

・ヒアリング先の候補：民生委員、あいネット、ルッカ、CAS、てとて、健康づくり推進委員、SSW、スクールカウンセラー、母子保健課、教育支援センター、養護教諭、こども食堂等

・調査方法：対面でのヒアリング

→次回ワーキングにて、ヒアリング項目、ヒアリング方法等検討する。

【今後の活動予定】

1 コア会議

(1) 第2回：令和8年1月28日（水） 対面による開催

2 実務者会議

(1) 第2回：10月22日（水） 対面による開催

3 ワーキングチーム

(1) 第3回：11月26日（水） 対面による開催

(2) 第4回：令和8年1月21日（水） 対面による開催

【部会名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会	【担当】 障害福祉課 石月・三原
【開催報告】	
1 柏市地域生活支援拠点運営協議会	
(1) 第1回：6月23日（月）対面による開催	
ア 令和6年度柏市相談支援機能強化事業等評価結果報告について	
・地域生活支援拠点の5つの機能項目についての評価結果報告を行った。	
概ね標準点以上の結果ではあるが、体験利用の在り方については、今後、継続して検討する必要があることを確認。また、評価の仕方についても改めて指標を設け改善に向け取り組み事となる。また、ケース対応において他分野との連携を行っていることやそれぞれの拠点の強みを活かした支援を行えているとの評価をた。	
イ 令和6年度各拠点の活動報告及び令和7年度各拠点の活動計画について	
・児童の相談件数増加について。拠点とこども関係部署との連携について今後も役割のすみ分けについて検討を要する。	
ウ 自立支援協議会各専門部会との連携について意見交換	
・予防プランの推進について、香取市が拠点を設置した時に同時に作成した予防プランがあることを共有。	
・地域連携推進会議について、各拠点での参加の検討。同法人GHの地域連携推進会議の参加することとなると、支援者としての目線が入ってしまうと感じ客観性が保てるのか、また繰々と依頼があった際の、すべては受けすることは不可能なため公平性が担保されない等の意見が出たが、最終的な参加の判断基準は法人単位となることを確認。	
・近隣市含めアパートタイプのGHが増えているが、柏市は家賃が高いため入居が出来ない方が多い。家賃が高額で入居できない方が多いため、空所のGHが多いことから、単独短期ではなく空床短期を提案していくべき、体験の場を増やしていくのではないかとの意見が出た。	
エ 4拠点会議の報告について	
・令和6年度の取り組みについての報告。	
GHの新制度が出来たことにより、今後居住支援法人や拠点との連携や取り組みにおいて足並みを揃える必要があるか等検討を要する。	
【今後の活動予定】	
1 柏市地域生活支援拠点運営協議会	
令和7年度は、年2回の開催予定	
次回開催日時は、令和8年1月頃を予定	